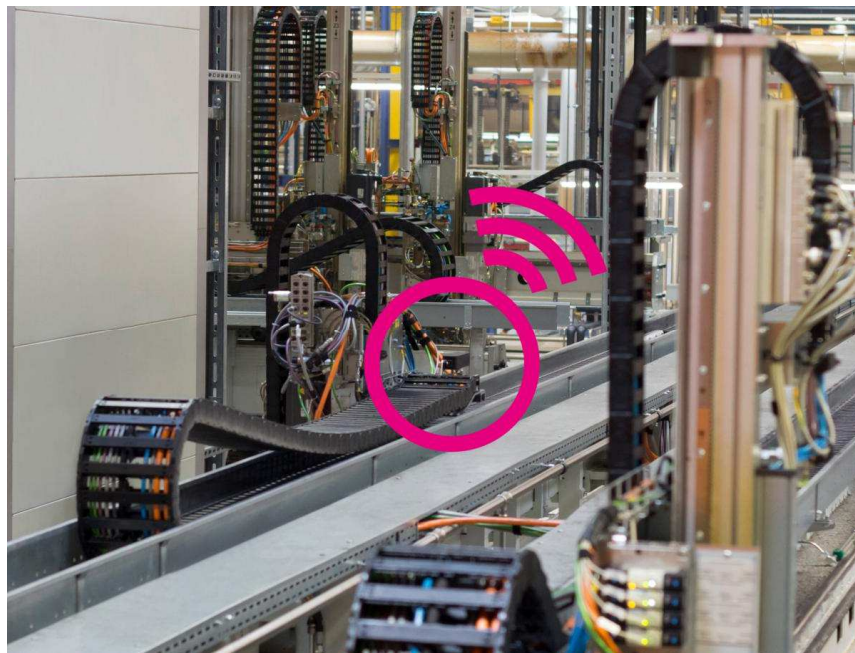


インテリジェント機能搭載でスマートファクトリー化 イグスの改良版スマート・プラスチック

イグス株式会社（東京都墨田区）は、2016年から様々なセンサーや監視モジュールによって要素部品にインテリジェント機能を付加した“isense”製品群を開発してきました。ケーブル保護管「エナジーチェーン」やケーブル、リニアガイド、ロータリーテーブルベアリング等に装備し、設備運転中に摩耗具合を監視して修理や交換の必要性を早期に喚起します。イグスの通信モジュール“icom”とのネットワーク接続により、パソコンやタブレット端末、スマートフォンにオンラインでステータス表示や警告を出す他、お客様のインフラへの直接統合も可能です。「スマート・プラスチック（※）」は既に、自動車産業を例とする多くのお客様で使用されています。お客様との綿密な連携の中で今も開発は進んでいます。



「スマート・プラスチック」のカスタマイズ

今年4月にドイツのハノーバー・メッセで発表しました改良型isenseモジュールは、「エナジーチェーン」や、ケーブル、リニアガイド、ロータリーテーブルベアリング等からデータをセンサーで収集します。このモジュールにはシリアルインターフェースが装備され、制御キャビネットに容易に統合可能です。データロガーがSDカードに数値を蓄積します。種々のisenseシステムで計測されたデータは、無線で“icom”

ニュースリリース

2018年5月21日

モジュールに送信され、解析および処理されます。その際、お客様は自身のインフラに統合する様々なコンセプトが実現可能です。このように“icom”には、センサーデータをパソコンに送信したり、コンピュータを介して既存ソフトウェア環境やイントラネット・ソリューションにデータを統合したりする選択肢があります。

更に、イグスデータセンターへの接続も可能です。その場合、広さ2,750㎡のイグス試験施設で得られた多くの用途別事例の試験データを基に、機械学習やAIアルゴリズムを基に推奨されるメンテナンス時期を決定します。

イグスに新設された「スマート・プラスチック」部門責任者のリチャード・ハーベリングは次のように解説しています。「オンライン寿命計算ツールに用いられる数多くの試験データは実際の使用環境における要件を考慮しており、isense製品群はその寿命データを常時更新し、正確な寿命予測を行います。そのため、メンテナンスや交換作業は必要最小限になるため、保守費用を節約することができます。」

(※) スマート・プラスチック…インテリジェント機能を搭載したイグスのケーブル保護管やリニアガイド、ロータリーテーブルベアリング製品群の総称。

以上

イグス株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 15 階

Tel:03 (5819) 2030 (代表)

<http://www.igus.co.jp>

<製品についてのお問い合わせ>

Tel:03(5819)2500

Fax:03 (5819) 2055

E-mail:info@igus.co.jp

<プレスリリースについてのお問い合わせ>

Tel:03 (5819)2057

Fax:03 (5819) 2055

E-mail: charada@igus.co.jp

以下の用語、"igus", "CFRIP", "chainflex", "conprotect", "CTD", "dryspin", "dry-tech", "easy chain", "e-chain", "e-chain system", "e-ketten", "e-kettensysteme", "energy chain", "energy chain systems", "flizz", "ibow", "manus", "pikchain", "readychain", "readycable", "savfe", "speedigus", "triflex", "twisterchain", "drylin", "iglidur", "igubal", "xiros" は、igus® GmbH の登録商標でありドイツ連邦共和国とその他の国によって法的に保護されています。